

2024 年 1 月 25 日

環境活動レポート

有限会社 マツダ商事

レポートの対象期間 2022 年 6 月～2023 年 5 月

《目次》

I. 環境方針	P-1
II. 事業活動の規模	P-2
III. EA21 推進体制	P-3
IV. 環境目標とその実績	P-4
V. 環境活動の取組計画と評価	P-5・P-6
VI. 環境関連法規制の遵守	P-7
VII. 代表者による全体評価と見直しの結果	P-7

I. 環境方針

環境方針

私たちの会社の事業活動が環境に与える影響を認識して、以下の環境行動指針を定め活動してまいります。

1. ガソリン等の資源の有効活用を推進するために、営業車の燃費を把握して消費量の削減に努めてまいります。
2. 事業活動に伴う廃棄物を適正に処理します。
3. コピー用紙を含む紙類の消費量を削減いたします。
4. 太陽光パネルによる発電と電気使用量の削減により、電気自給率を高めてまいります。
5. グリーン商品、エコマーク商品の販売拡大及び購入を推進してまいります。顧客の環境配慮活動に貢献してまいります。
6. 環境に関する法規制等を守ります。
7. 環境経営システムを維持していくことにより、継続的な環境負荷低減に努めます。
8. 地域とのコミュニケーションを深め、環境美化・保全活動に積極的に参加します。
9. この方針は私たちの会社で働く全員に対し、環境方針の理解と環境に関する意識向上を図ります。
10. この環境方針は外部にも公開いたします。

制定 2007 年 7 月 14 日

改定 2014 年 6 月 5 日

有限会社 マツダ商事
代表取締役社長 松田 秀夫

Ⅱ．事業活動の規模

1. 事業者及び代表者名

有限会社 マツダ商事

代表取締役社長 松田秀夫

2. 所在地

本社 〒376-0021 群馬県桐生市巴町2-1821-23

3. 環境保全関係の責任者及び担当者連絡先

代表責任者: 代表取締役社長 松田秀夫

環境管理責任者: 業務 中山美由紀

担当: E A 2 1 推進事務局 松田秀夫

連絡先: TEL 0277-43-3344

FAX 0277-47-1232

4. 事業の内容

事務機器・事務用品販売など

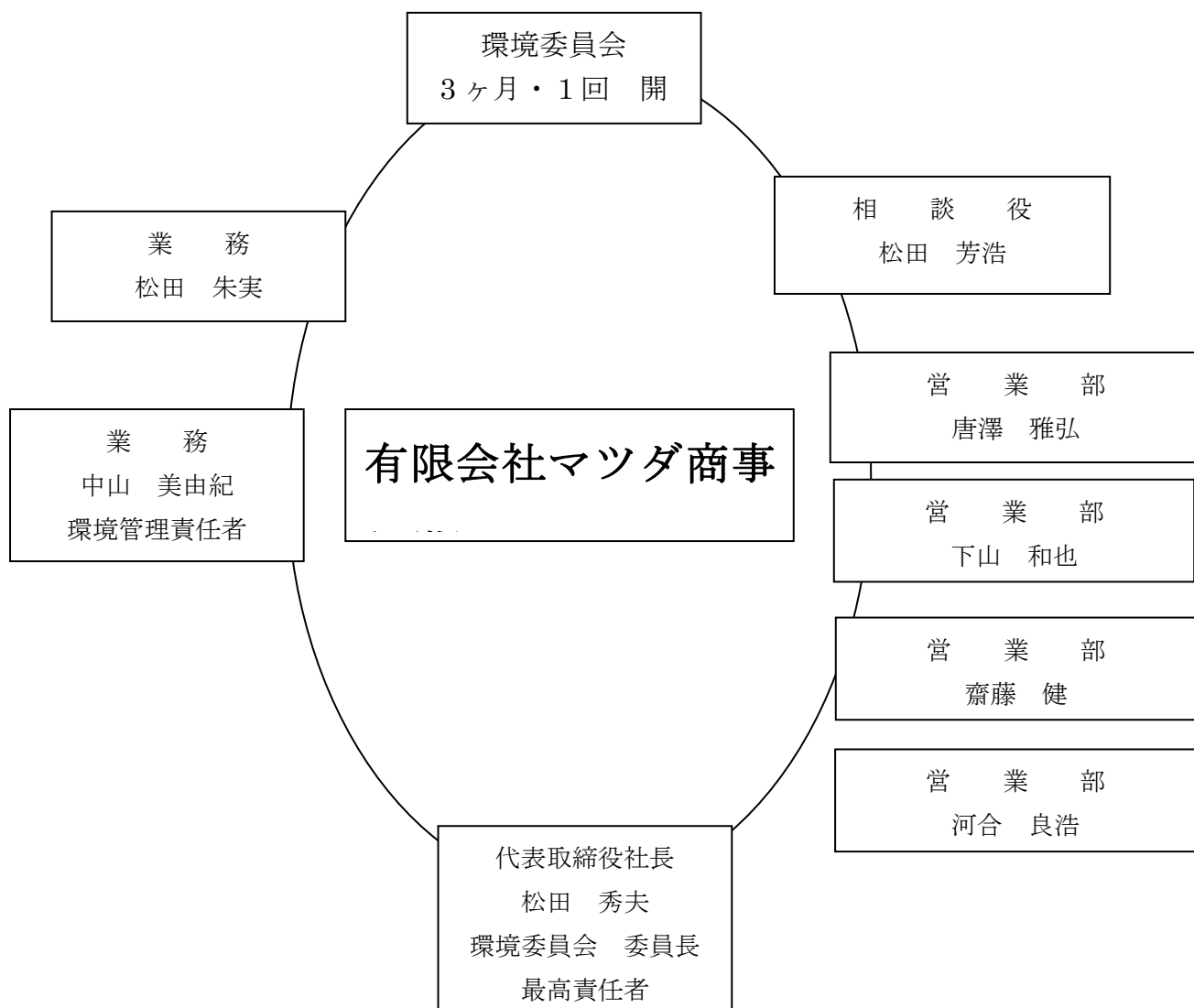
5. 事業の規模

従業員人数、7名（令和5年5月現在）

資本金、2000万円

車両5台（軽自動車3台、普通自動車2台）

Ⅲ. E A 2 1 推進体制



IV. 環境目標とその実績

1. レポート対象期間の環境目標と環境負荷・実績

環境目的項目	管理実施項目	単位	2019 年度	2020		2021		2022		
			実績 (基準年)	目標	実績	目標	実績	目標	実績	
二酸化炭素排出量の削減 (2%削減)	電力の削減	kwh/百万円	31.52	31.20	27.3	30.88	31.32	30.579	26.4	
	ガソリン使用の削減	ℓ/百万円	12.76	12.63	12.46	12.50	7.36	12.378	8.26	
	都市ガス使用の削減	m³ N/百万円	0.838	0.829	1.294	0.820	1.29	0.812	1.67	
	二酸化炭素排出量	kg/百万円	47.24	46.76	45.44	46.292	35.62	45.829	36.1	
廃棄物の削減 (2%削減)	廃棄物の削減	個/百万円	0.27	0.267	0.247	0.264	0.25	0.2616	0.23	
総排水量の削減 (2%削減)	水資源投入量の削減	従業員 1 人 あたり(m³)	3.00	2.97	4.83	2.940	4.5	2.910	4.42	
環境配慮型製品の推進 (2%向上)	環境配慮型製品向上※	台/総台数(RC 機)	18.5	18.31	24.8	18.126	16.0	17.945	2.72	

* 排出係数は 0.502 kg-CO₂/kwh(桐生ガス電気の 2019 年度実績)

2. レポート対象期間以降の中長期目標

環境目的項目	管理実施項目	単位	2019 年度	2020		2021		2022	2023
			実績 (基準年)	目標	実績	目標	実績	目標	目標
二酸化炭素排出量の削減	電力の削減	kwh/百万円	31.52	31.20	27.3	30.88	31.32	30.579	30.273
	ガソリン使用の削減	ℓ/百万円	12.76	12.63	12.46	12.50	7.36	12.378	12.254
	都市ガス使用の削減	m ³ N/百万円	0.838	0.829	1.294	0.820	1.29	0.8125	0.8043
	二酸化炭素排出量	kg/百万円	47.24	46.76	45.44	46.292	35.62	45.829	45.371
廃棄物の削減	廃棄物の削減	個/百万円	0.27	0.267	0.247	0.264	0.25	0.2616	0.259
総排水量の削減	水資源投入量の削減	従業員 1 人 あたり(m ³)	3.00	2.97	4.83	2.940	4.5	2.910	2.881
環境配慮型製品の推進	環境配慮型製品向上 ※	台/総台数(RC 機)	18.5	18.31	24.8	18.126	16.0	17.945	17.766

過去の環境負荷実績

環境目的項目	2018 年度	2019 年度	2020 年度	2021 年度	2022 年度
二酸化炭素排出量	21,969.53	17,973.36	22,996.50	16,991.37	19,446.6
廃棄物(個)	126	137	125	124	125
総排水量(m ³)	18	19	29	32	31

V. 環境活動の取組と評価

取組計画	評価
① 二酸化炭素排出量の削減 1.空調温度適正化・表示 2.照明・PC 電源不要時の OFF の推進 3.エアコン清掃の実施 4.燃費の確認 5.社用車の点検・整備 6.原因分析と削減方法の検討	蛍光灯を LED にすべて交換したことにより、電気使用量が削減できたが、エアコンを都市ガス使用の商品委入れ替えたことにより、ガス使用量が大幅に増加した。次年度に向け、さらに削減できるようにエアコンの設定温度の管理とエコドライブの推進を実践していきたい。次年度の取り組み 掲示物で削減を啓蒙して行く。
② 廃棄物の削減 1.分別ルールの徹底 2.廃棄物置場の整備 3.再生利用ルートの確保 4.裏紙使用ルールの徹底 5.原因分析と削減方法の検討	目標に対して、達成はできたが、コロナ対策として、紙コップやペーパータオル、割りばしなどを使用する機会が増加しているので、今後はあまり増加しないように、心掛けていきたい 次年度の取り組み 従業員数も増えたため啓蒙活動を継続して行う。
③総排水量の削減 『目標達成手段』 1.毎月のメータを確認する(漏水防止) 2.節水表示 3.節水への意識確認 4.トイレの節水 5.原因分析と削減方法の検討	実施事項の実施状況は、加湿器の導入、コロナ対策による手洗いの回数の増加などにより、増加になってしまった。 次年度の取組み 増加の原因が分かっているため、次年度は個々の節水意識を高め、行動する。

④環境配慮型製品の推進 『目標達成手段』 1.販売台数(RC 機)の把握 2.販売活動の計画策定(ECO、LOHAS 商品) 3.販促活動の積極化(独自チラシ)	実施事項の実施状況は、 新品とリサイクル(RC 機)の 2 パターンで提案し、リサイクル(RC 機)のメリットを伝え、お勧めするようになりました。 次年度の取組内容、 更なるリサイクル(RC 機)のメリットを見つけ、増台できるように心がける。
---	---

※その他の環境活動の取組

2014 年 5 月に事務所屋根部分に 18.2kw の太陽光パネルを設置し、売電しています。

2018 年 5 月に小規模な 50kw 未満の太陽光発電所を設置し、売電しております。

2022 年度 太陽光発電による発電量	2022 年度 購入電力
111563kwh	14262kwh

VI. 環境関連法規制の遵守状況

(1) 当社に適用となる主な環境関連法規

法規制等の名称	遵守状況
環境基本法	遵法
循環型社会形成推進基本法	遵法
グリーン購入法	遵法
道路運送車両法	遵法
地球温暖化対策推進法	遵法
フロン排出抑制法	遵法
自動車リサイクル法	遵法
環境教育推進法	遵法
環境情報提供促進法/環境配慮促進法	遵法
産業廃棄物処理法	遵法

(2) 環境関連法規への違反、訴訟等の有無

2023 年 6 月 1 日の環境関連法規遵守状況の確認において、環境関連法規への違反はありません。なお、関係当局よりの違反等の指摘は、過去 3 年間ありません。

VII. 代表者による全体評価と見直しの結果

・再生可能エネルギーを積極的に推進するため、太陽光パネルを導入しました。
化石燃料の削減についても積極的に削減するため、自動車の買い替えの際には、燃費の良い車を導入していきます。